



全国グラビア協同組合連合会

全グラ情報

JAPAN



巻頭言

いまの世界の状況メーターを知る

関西グラビア協同組合

副理事長 奥田拓己



今年も残すところ3カ月を切りました。東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめ楽しみにしていたことがたくさんあった今年、それがあれもこれもとほとんどが中止・延期になってしまいました。例年とはまったく違う毎日過ごす中で「この9カ月あまりの間に空白になってしまった時間と、それに要したであろうコストやエネルギーはいったいどこに消えていったのか」と考えることがあります。

そしてこの新型コロナウイルスとの戦いで起きた多くの悪い影響がある一方で“良い影響”もありました。工場や物流が停止し、車の流れが無くなったぶん世界的に大気汚染の濃度がさがり、これまで汚染に悩まされていた地域ではしばらく見たことのないよう青空が観測されました。今年はPM2.5のニュースも少なかったように思います。また今までは都市圏こそが理想の地とみなし“密”の状態の仕事や生活するのが当たり前とされていました。それが今回無理やりにでもテレワークを導入した結果、今までの仕事や生活のスタイルを維持するために、こんなにも多くの時間とコストを要していたということを知ることになりました。今までのスタイルは確かに経済にはプラスなのかもしれませんが、地球環境や本来の人間の社会的生活には大きな負荷がかかっていました。これに疑問を感じる人が増え、郊外や地方が見直されるようになりました。他にも世界の多くの人々が健康と福祉の重要性に気づき、その制度の見直しが検討されることになったのも、今回コロナがもたらした良い影響と言えるかもしれません。

話は変わりますが、国連が国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）を定めたのが今から5年前の2015年です。これは2030年までの目標ですから、はや期間の3分の1が過ぎようとしています。このSDGsを新聞で見ない日はなく、2025年の大阪・関西万博の開催目的にも掲げられました。

当社では、SDGsとは何か？なぜ必要なのか？それがあることによって私たちの生活や企業のビジネス活動がどんなふうに変わり得るのか？どんな可能性が生まれるか？を体験的に学ぶために昨年9月、全従業員（東京営業所は除く）で2030 SDGsカードゲーム研修を開催しました(<https://www.kitashikokug.co.jp/news/detail/364>)。ゲームはSDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験します。さまざまな価値観や違う目標を持つ人がいる世界で、参加者1人ひとりが一国の代表として他国と交渉を続けSDGsの壮大なビジョンを実現していきます。あまり詳しく書くとネタバレになりますので簡単に説明しますと、このゲームは現実社会とおなじように最も大切にしている価値観が人によって「お金儲け」「悠々自適な時間」「環境を守りたい」「この世から貧困をなくしたい」など多岐にわたるという前提でスタートします。そして各自（各国）に配られた“お金”と“時間”を使ってプロジェクトを実行します。プロジェクトが達成されると、その見返りとしてもらえるモノが

あります。さらにそのプロジェクトの内容によって「経済」「環境」「社会」という視覚化された「世界の状況メーター」が変化し続けます。そしてゲーム終了時、つまり2030年にどんな世界になっているかを体感します。

現在当社にはこのゲームの養成講座を修了した公認ファシリテーターがいます。今年2月から単独の企業や団体、公募や口コミで集まってくれた個人（学生含む）や異業種・団体の皆さんといっしょに学びを続けてきました。参加者の皆さんからはとても好評を得ており、寄せられた感想には「ぼんやりしていたSDGsの考え方が理解でき、より身近に、そして自分事として考えられるようになった」「知らない世界とも“つながっている”ことを知った。明日からの時間やお金の使い方を考え直し行動します」というありがたい声があつまっています。私はオブザーバー役も含めると何度もこのゲームに参加しましたが、その都度“今すぐにでも”自分たちの考え方を換え、それを行動に移さなければ2030年は大変な世界が待っていると危機感を募らせています。それは「世界の状況メーター」の「経済」以外の要素である「環境」と「社会」を持続可能な姿にするためには莫大な“お金”と“時間”が必要であることを知ったからです。そして冒頭で書かせていただいたように、皮肉にもこのコロナ禍が変えた「現実の”世界の状況メーター”」は私たちに多くの示唆を与えてくれています。

一年前（2019年）の今頃は、廃プラ・海洋ゴミ問題、併せて食品ロス削減推進法などの影響で当業界には大きな宿題が課せられました。それが一転コロナ禍では、プラスチックによる個包装化が進みました。また、9月12日に発刊されたNIKKEIプラス1の何でもランキングは「災害時百均グッズで乗り切る」がテーマでした。ランキングされている商品は1位「プラスチック製消臭バッグ」、2位「高密度ポリエチレン袋を使って調理」、3位「皿やまな板にラップフィルムをかけて」と続き、10位まで全てがプラスチック製品でした。改めて平常時から非常時まで、今も昔も私たちは世の中から必要とされている業界なのだと誇らしく思えます。

ただし、これに喜んでばかりではられません。SDGsの目標に立ち返ると「必要とされているから有難い」「ゴミや環境問題はまたそのうちに」では許されず、さらに安易な値下げや短納期、過剰品質によって犠牲になっているモノにも目を向けなければなりません。今やっている仕事が「経済・環境・社会の世界の状況メーター」にどのような影響を与えているか、今やっている営業活動、製造活動が本来のあるべき姿に向かっているかを考える必要があります。2030 SDGs カードゲームの振り返りでは、私たちがフェアトレード・環境保護の推進、児童労働の撤廃に寄与している商品（GPマークを含め、これらが印刷されている商品）を日ごろから購入しているかと問いかねられます。これを突きつけられてしまうと消費者としての購買活動だけでなく、軟包装業に身を置く者として経営や営業・製造活動自体をも考えさせられてしまいます。このように各業界と密接にかかわり、また世の中のトレンドであるプラスチック、石油由来材料を使う当業界こそ、国連が定めた2030年の持続可能な開発目標達成に貢献するべく正しく賢い企業活動しなければならないのです。

最後に、この度は（一社）日本印刷産業連合会から、2020年度印刷振興賞受賞の知らせをいただきました。ただただ驚くばかりでしたが、これも全国グラビア協同組合連合会 田口 薫会長はじめ理事・会員の皆さん、そして長年お世話になっている関西グラビア協同組合の竹下晋司理事長はじめ理事・組合員の皆さんのご指導のおかげと感謝しております。今後も「世界の状況メーター」を随時確認しながら、いっそう業界や社会、地域、会社の進歩発展ために努力を続けてまいります。

(一社) 日本印刷産業連合会

全国グラビア分析センターの石塚千吾氏、 緑十字賞を受賞

中央労働災害防止協会は、長年にわたり産業安全や労働衛生の推進向上に尽力し、顕著な功績が認められた個人およびグループなどに「緑十字賞」を贈り、表彰しています。今年度印刷業界から、(株)全国グラビア分析センターの代表取締役社長、石塚千吾氏を同賞の候補者として推薦していましたが、このたび同氏の受賞が決定しました。

石塚氏は1947年9月6日生まれで、2007年9月に全国グラビア分析センターに入社後、主に環境・安全・衛生業務に従事し、09年5月に同社の代表取締役社長に就任し現在に至っています。

石塚氏は、全国グラビア協同組合連合会傘下の組合員企業の「作業環境測定」「VOC測定」「環境関連コンサルタント業務」を行い、環境負荷の大きいグラビア印刷職場で働く従業員の労働衛生と産業安全に貢献した他、「労働安全・消防安全心得(第1版～第3版)」の著書を発行し、グラビア印刷職場の産業安全並びに労働衛生の周知に寄与しました。また、2008年には「VOC発生源の実態調査と対応」を発刊したことなど、業界の環境改善に貢献した功績が評価され、今回の受賞に至りました。

「緑十字賞」の受賞式は、10月7日(水)に開催する「第79回全国産業安全衛生大会」の中で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となったため、10月30日(金)に日本印刷会館で開催する「VOC排出抑制セミナー(主催：経済産業省、共催：日本印刷産業連合会)」の中で、石塚氏に全国グラビア分析センターが行ってきた、VOCの排出抑制による作業環境の改善や従業員の健康管理に関する取組等を講演していただき、講演の後で表彰式を行います。

表彰は中央労働災害防止協会・理事長の八牧暢行氏にご登壇いただき、表彰状等を授与していただく予定です。「VOC排出抑制セミナー」のプログラムは16頁を参照して下さい。

Information

サカタインクスと東洋インキSCホールディングス、 「ケミカルマテリアルJapan 2020 ONLINE」に出展

2020年10月19日(月)午前10時～11月18日(水)午後5時(1カ月間・24時間)まで開催されるオンライン展示会「ケミカルマテリアルJapan2020—ONLINE—」にサカタインクス(株)と東洋インキSCホールディングス(株)が出展する。公式ホームページ(<https://www.chemmate.jp/on2020/>)では来場登録(無料)を受付中。サカタインクスと東洋インキSCホールディングスの出展内容は以下の通り。

【サカタインクス】

各種機能性コーティング剤(ポリシロキサン

材料、高屈折材料/低屈折材料、透明絶縁材、機能性抗菌ニス、機能性抗ウイルスニス)

【東洋インキSCホールディングス】

先端技術関連：5G対応に向けた低誘電率・低誘電正接ポリマー、スマホ・LCD向け光学制御製品群、金属密着に優れる高機能塗料、アクリルエマルジョン/水性樹脂(機能性樹脂)

抗菌・抗ウイルス関連：印刷用抗菌ニス、コーティング用抗菌・抗ウイルスUVハードコート剤など

全国グラビア協同組合連合会・関東グラビア協同組合 合同理事会報告 **グラビア印刷技能実習評価委員会の委員長 に竹下晋司氏、副委員長に石井 純氏を選任**

全国グラビア協同組合連合会並びに関東グラビア協同組合は、2020年9月15日(火) 午後3時～5時15分まで、ビデオ会議ソフトのZoom(ズーム)を使用した合同理事会を開催した。当日は、全グラ側から、田口 薫会長(関東グラビア協同組合：大日本パッケージ(株))、安永研二副理事長(同：東包印刷(株))、竹下晋司副理事長(関西グラビア協組：(株)ダイコー)、浮田信也理事(東海グラビア印刷協組：大和産業(株))、村田英雄専務理事、関グラ協組側から、湯本雄一理事(日本パッケージ(株))、山下博正理事(株)日商グラビア)、村野 剛理事(信和産業(株))、赤穂昌之顧問(株)日商グラビア)の9名が全グラ事務所に集まり、全グラの石井 純副理事長(関東プラスチック印刷協組：(株)多漣堂)、金谷益孝副理事長(北海道グラビア印刷協組：彫刻グラビヤ札幌(株))、山下雅稔理事(関東グラビア協組：(株)巧芸社)、東 勇一理事(関東プラスチック印刷協組：(株)トーショー)、佐伯鋼兵理事(埼玉県グラビア協組：(株)佐伯紙工所)、井手信治理事(北海道グラビア印刷協組：三王ポリ(株))、杉山真一郎理事(東海グラビア印刷協組：富士特殊紙業(株))、奥田拓己理事(関西グラビア協組：(株)北四国グラビア印刷)、織田憲三理事(北陸グラビア協組：アートボックス(株))、母里圭太郎理事(九州グラビア協組：(株)平野屋物産)、関グラ協組からは阿部純理事(北上産業(株))、川田雄治理事(トーホー加工(株))、吉原宗彦理事(東京加工紙(株))、橋本 章理事(橋本セロファン印刷(株))、小林直人理事(八潮化学(株))、柴田里香理事(千代田オーク法律事務所)、佐藤裕芳監事(株)千代田グラビヤ)、名和公久監事(株)カナオカ)の18名がWeb経由で、合計27名が参加し開催された。

田口 薫会長が議長を務め、下記の議題について議論した。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響等と 景況について

出席理事より、自社の受注状況、先の見通し、各地域の産業の特徴的な動き、今後の課題等について報告が行われ、情報を共有した。

幸いにも、組合員企業においてCOVID-19の発症は見られないこと、感染予防対策として、画像認識の非接触式体温測定装置を導入し、今後、入

退出者全員のデータと紐付けを行う予定、工場では在宅勤務は不可なので、体調不良者が出たときには、休みやすい環境を作り、工場内に入れない仕組みを作っておくこと、営業活動はZoomのようなWeb会議システムを使ったりして行っており、新しい時代に合わせた仕事のやり方にしていくべきとの前向きな発言もあった。

九州グラビア協組の母里圭太郎理事からは、今



左から赤穂昌之氏、田口 薫会長、竹下晋司氏

年4月26日に87歳で逝去された、平野屋物産の谷可成代表取締役会長のお別れ会を、10月9日、ホテル日航福岡で行うが、コロナ禍のために収容人数、遠方からの来客に対して厳しい制限が課せられているため、ご縁をいただいた全グラの皆様をご招待することができないことに対し、謝意の言葉があった。

2. 「日印産連」表彰、GP 各種表彰について

(一社)日本印刷産業連合会(JFPI)が9月16日に開催を予定していた「印刷の月」式典・表彰がCOVID-19により中止となったため、印刷功労賞を受賞した赤穂昌之氏(㈱日商グラビア)、印刷振興賞を受賞した奥田拓己氏(㈱北四国グラビア印刷)に、田口会長より、表彰状および記念品が授与された。なお、奥田氏はオンラインでの参加となったため、竹下晋司関西グラビア協組理事長が代理で受け取られた。

山下雅稔理事より、「『印刷と私』エッセイ・作文コンテスト」に代わり、COVID-19拡大防止のために闘っているエッセンシャルワーカーの方々

に対し、感謝と応援の意味を込めて、感謝のポストカード「心のバトン」を制作、希望者に無料配布する企画についての説明があった。グリーンプリンティング(GP)認定工場の方々にはJFPIより1セット送られる予定。小山薫堂氏がメッセージ、小池アミイゴ氏が画を提供している。

3. 全国グラビア分析センターの石塚千吾社長、緑十字賞受賞

(㈱)全国グラビア分析センターの石塚千吾代表取締役社長が、JFPIから推薦を受け、中央労働災害防止協会(中災防)緑十字賞を受賞することになったとの報告があった。残念ながら、COVID-19の影響により、表彰式は行われませんが、代わりに、10月30日(金)午後から、経済産業省 関東経済産業局の主催で開催される「VOC 排出抑制セミナー」において、「(仮)グラビア印刷職場のVOC 排出抑制並びに職場環境改善」というテーマで石塚社長に講演をいただき、その後、中災防より表彰を受ける予定。

4. 第8回コンバーティングの明日を考える会セミナー

2020年4月16日に開催が予定されていた「第8回コンバーティングの明日を考える会セミナー」は、COVID-19の拡大のため、開催が延期されていたが、2021年4月27日(火) 午後1時より、すみだリバーサイドホール（東京都墨田区吾妻橋1-23-20）にて開催することを正式決定した。テーマは、今年候補に挙がった講師を中心に、決めることとなった。

5. 「外国人技能実習制度」への印刷職種 グラビア印刷作業 追加認定 進捗状況について

2020年7月17日(金) 午後1時半、厚生労働省において、外国人技能実習認定推進WG（ワーキンググループ）の赤穂昌之座長、全グラの村田英雄専務理事の2名が出席し、人材開発統括官の佐々木奈々子参事官（海外人材育成担当参事官室長併任）より、「グラビア印刷技能実習評価試験 認定通知書」が授与され、正式に、「外国人技能実習制度」の対象職種・作業に、グラビア印刷作業が追加認定された。

これについて、村田英雄専務理事より、申請書類、試験制度運営組織、試験実施要領等について

の説明があり、グラビア印刷技能実習評価試験委員会の浮田信也委員長、赤穂昌之副委員長から補足説明があった。

また、今回の理事会開催に合わせて、第1回グラビア印刷技能実習評価委員会を開催し、委員長に竹下晋司氏（関西グラビア協組・理事長：(株)ダイコー）、副委員長に石井 純氏（関東プラスチック印刷協組・理事長：(株)多漣堂）、委員に金谷益孝氏（北海道グラビア印刷協組・理事長：彫刻グラビヤ札幌(株)）、田口 薫氏（関東グラビア協同組合・理事長：大日本パッケージ(株)）、佐伯鋼兵氏（埼玉県グラビア協組・理事長：(株)佐伯紙工所）、賀谷真尚氏（北陸グラビア協組・理事長：賀谷ゼロファン(株)）、石井良明氏（東海グラビア印刷協組・理事長：(株)石井）、中村政晃氏（九州グラビア協組・理事長：(株)三裕商会）が選任された。

6. その他

- ・田口会長からの緊急提言
- ・クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンスについて
- ・プラスチック廃棄物について
- ・軟包装イメージアップキャンペーンについて
- ・石化製品の市況について
- ・2021年1月の新年会について



日印産連GP認定事務局

小山薫堂氏がメッセージ、小池アミイゴ氏が画を提供 エッセンシャルワーカーへ感謝のポストカード「心のバトン」制作

(一社)日本印刷産業連合会グリーンプリンティング（GP）認定事務局は、新型コロナウイルス感染拡大と闘っているエッセンシャルワーカーの方々に対し、感謝と応援の意味を込めて、感謝のポストカード「心のバトン」を制作、希望者に無料で配布する。

日印産連 GP 認定事務局では、グリーンプリンティング PR 大使である放送作家の小山薫堂氏の発案で「印刷と私」エッセイ・作文コンテストを4年前から開催、今年その4回目の開催準備を進めていた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、今年は「印刷と私」エッセイ・作文コンテストの中止を決め、それに代わる企画として、「エッセンシャルワーカーの皆さんへの感謝のポストカード」を制作した。



文・小山薫堂氏



画・小池アミイゴ氏

このポストカードは、こうしている今も自らの感染リスクも顧みず私たちの命を救うために医療現場で闘っている医師や看護師の皆さんをはじめ、公共交通機関、スーパー・コンビニ・ドラッグストア等の販売員、介護士・保育士、清掃業など私たちの毎日の生活インフラを支えてくれている多くのエッセンシャルワーカーの皆さんへ、印刷業界としても感謝と応援の気持ちを表したく、制作したもの。

「感謝のポストカード」には、小山薫堂氏に感謝と応援のメッセージを、イラストレーターの小池アミイゴ氏には心の癒しと支えになる作画を、それぞれお願いした。

ポストカードは、自分のメッセージを記入する欄があるタイプとないタイプと2種類を制作し、次の要領で希望する一般の方々へ広く配布する。

関連 URL

<https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/postcard/>

■感謝のポストカード「心のバトン」の配布について

【対象】 医者、看護師など、日ごろお世話になっているエッセンシャルワーカーへ、感謝のメッセージを贈りたい方

【内容】 ポストカード6枚1セットを贈呈

【配布方法】 先着1,000名様に無料で郵送

【応募方法】 特設ホームページから応募。送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号、Eメールを記載のこと

【応募先】 日本印刷産業連合会・グリーンプリンティングホームページ内
※日印産連ホームページは「グリーンプリンティング」で検索

【募集期間】 2020年12月末日まで。ただし、ポストカードがなくなり次第終了

※環境配慮について

同ポストカードは、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場と資材で印刷し、GPマーク（印刷の総合環境ラベル）が表示されている。

※抗菌加工について

同ポストカードの表面には抗菌加工を施している。

【問い合わせ先】

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館3F

（一社）日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング認定事務局

TEL：03-3553-6123（平日 am10:00～pm4:00） Email：gp-nintei@jfpj.or.jp



(一社) 日本印刷産業連合会

GP 環境大賞、NTT タウンページなどが受賞 東京インキが GP 資機材環境大賞資材部門で受賞

印刷業界の環境配慮自主基準を達成した工場・事業所を認定するとともに、同基準に適合した印刷製品への「グリーンプリンティング（GP マーク）」表示、並びに印刷工場が使用する資機材の認定など、印刷総合環境配慮制度「グリーンプリンティング GP 認定制度」の取り組みを進める（一社）日本印刷産業連合会（日印産連）は、2020GP 環境大賞に4社・団体、同準大賞に5社・団体、2020GP マーク普及大賞に2社、同準大賞に5社、同奨励賞に1社、2020GP 資機材環境大賞資材部門に1社、同機材部門に1社を次の通り決定した。



GP 環境大賞は、地球環境への負荷低減に熱心に取り組んでいるとともに、GP 認定制度への深い理解と制度の積極的活用をしていることに敬意と感謝の意を込めて贈る賞。2020GP 環境大賞は、2019年度までに GP マークを表示した印刷製品をより多く発行した企業・団体に授与する。

GP 環境大賞

NTT タウンページ㈱、大阪商工信用金庫、埼玉県議会、東京都

GP 環境準大賞

㈱ジェイアール東日本企画、東武鉄道㈱、プレミアアンチエイジング㈱、武蔵野大学、レインボー薬品㈱



GP マーク普及大賞は、GP マーク表示にもっとも貢献した GP 認定工場を他の工場の模範として表彰する賞で、今回は2019年度までに GP マーク表示印刷製品をより多く受注し、GP マーク普及に貢献した GP 認定工場（印刷会社）に授与する。

GP マーク普及大賞

NTT 印刷(株)、六三印刷(株)

GP マーク普及準大賞

伊藤印刷(株)、岩岡印刷工業(株)、(株)笠間製本印刷、
(株)太陽堂印刷所、(株)文伸

GP マーク普及大賞奨励賞

精英堂印刷(株)



よび作業環境改善に貢献し、GP 資機材認定製品を積極的に提供している資機材メーカーに贈る賞で、今回は、2019年度（2020年4月1日現在）における GP 資機材認定製品の登録が最も多い資機材メーカーに対し、資材、機材の部門別に授与する。なお、この賞は、過去受賞メーカーは表彰対象外となっている。

GP 資機材環境大賞・資材部門

東京インキ(株)

GP 資機材環境大賞・機材部門

(株)リコー

※過去受賞メーカーは選考の対象外

資機材環境大賞は、印刷工場の環境負荷低減お

グリーンプリンティング認定制度について

平成18年に印刷産業の環境負荷削減をめざして創設。今年は創設14年目を迎え、活動しているグリーンプリンティング（GP）認定工場は全国426工場となった。環境省策定・発行の「グリーン購入の調達者の手引」「プレミアム基準策定ガイドライン」「環境表示ガイドライン」、そして「東京都グリーン購入ガイド」において、同制度の活用が取り上げられている。また、民間企業においても印刷の発注先として GP 認定工場が指名されるなど、社会的信頼を得られた業界初の認定制度として業界内外から広く注目を集めている。

GP マークについて

GP マークは GP 認定工場が製造し、紙、インキ等印刷資材がグリーン基準を満たした印刷製品に表示できるマーク。環境配慮のレベルによりワンスターからスリースターまでの3段階がある。GP マークは、より高度な環境ラベルとして、官公庁の発行物、CSR レポートから一般のパンフレットなどさまざまな印刷製品に利用されている。